

中標津町バイオマス産業都市構想の概要

北海道中標津町、人口 2.4万人、面積 約6.8万ha

構想の概要

- ・バイオマス資源循環を軸にした環境にやさしく、持続可能な地域社会の実現
- ・エネルギー需給率の高いまちづくりと、地域産業と環境が調和した低炭素社会の構築
- ・新たな産業による雇用創出と地域環境の向上

1. 将来像

- ①農林水産バイオマスの利用によるまちづくり
- ②新たな産業の創造と経済効果
- ③災害に強いまちづくり
- ④地域における衛生的な環境と生活環境の改善

3. 目標(10年後)

- ①廃棄物系バイオマス 98.8%
 - ・家畜排せつ物 100% ・食品系廃棄物 15% ・下水汚泥 100%
- ②未利用バイオマス
 - ・木質バイオマス 55.1%

4. 地域波及効果

- ①経済波及効果 73.39億円
- ②新規雇用創出効果 49人
- ③バイオマスのエネルギー利用による化石燃料代替量
 - 電気: 33,533.6MWh/年 熱: 4,065.8GJ/年
- ④温室効果ガス(CO2)排出削減量 22,668,713.6t-CO2/年
- ⑤産業廃棄物処理量の削減量 540t/年
- ⑥地域エネルギー自給率 電気: 89.2% 熱: 0.5%
- ⑦電気及び熱の供給 電気: 33,533.6MWh/年 熱: 3,861.2GJ/年
- ⑧園芸施設における新規雇用: 2名×6施設
- ⑨バイオマス活用施設への市町村外からの視察・観光者数 600,000円/年 (宿泊費×視察者)

2. 事業化プロジェクト

- ①畜産バイオガスプラント・プロジェクト(6地区)
 - ・乳牛ふん尿を適切に処理するバイオガスプラント事業、食品廃棄物も原料の対象。生産したバイオガスはバイオガス発電会社へ販売。
- ②木質バイオマス発電プロジェクト
 - ・間伐材を炭化乾燥炉で乾燥並びに炭化。その排気熱をボイラーへ投入し、同時に乾燥、炭化した状態のバイオマス燃料を粉碎スクリーにより燃焼炉へ自動投入して燃焼。
- ③廃菌床ペレット化プロジェクト
 - ・しいたけの菌床栽培事業から排出される、廃菌床(おが粉)を活用し、廃菌床ペレットを生産

5. 実施体制

町、JA、酪農家、北海道立総合研究機構で構成する「中標津町バイオマス利活用促進協議会」を設置。

6. その他

- ・第6期中標津町総合発展計画 ・酪農・肉用牛生産近代化計画
- ・中標津町まち・ひと・しごと創生総合戦略～あつまる つながる ひろがるまち～
- ・中標津町環境基本計画
- ・中標津町バイオマス活用推進計画(予定)



中標津バイオマス産業都市構想の具体的な事業と将来像

～家畜排せつ物のエネルギー化、肥料化を中心とした循環型「農」のまちづくり～



趣
旨

バイオマス資源循環を軸にした環境にやさしく、持続可能な地域社会の実現
エネルギー需給率の高いまちづくりと、地域産業と環境が調和した低炭素社会の構築
新たな産業による雇用創出と地域環境の向上

